

■ 渋澤と伊井の今月の想い

【「見えない価値」を再検証する絶好のチャンス】

緊急事態宣言が延長されて、落胆している方が多いと思います。2か月間以上、with コロナの生活が続いていますから、普通の生活に戻りたい。この切望は世の中で共通しているでしょう。地域によってコロナ禍への対応の差が見えてきていますが、不安を払拭するにはかなりの時間がかかりそうです。しかし、悲惨な状態だった欧米諸国の重症者数は傾向としてマイナスに転じています。状況の終息は、あきらかに時間の問題です。

長期投資家の観点では数カ月は一時に過ぎません。目前の不安に惑わされことなく、よりよい明日を求める積み立て投資を継続する。このような未来志向は、これからますます大事になります。なぜなら、新型コロナ・ウイルスの感染は終息されますが、その影響は数年単位で続く可能性があるからです。緊急休止に追い込まれた生産は立ち上がりを見せるでしょうが、世の中の消費者センチメントが元に戻るには時間がかかりそうです。

いや、そもそも元には戻らないかもしれません。コロナ禍で過ごした数か月で量より質、モノからコトへ。不要とは何かという気づきがあったと思います。既に底流に流れていた消費者動向が本流になる可能性があります。

各国の政府は緊急救済モードから景気刺激策へ舵を切るでしょうから、そのような期待感が高まる側面があるでしょう。ただ、人類の人口の長期的な成長は鈍化しています。コロナ禍により、この経済社会の構造的な変化が顕著に現れるようでしたら、beforeコロナを想定している景気刺激策の実質的な効果は限定的になると思います。

全体的な成長を投資対象とするパッシブ運用よりも投資先を厳選するアクティブ運用が勝る時代を示唆しています。

私は、新しい世の中が始まる予感がしています。

そういう意味で、コモンズ30ファンドも新しい時代に入っているということも言えます。

ファンド設定来の最も大きなショックに直面した投資先の企業の今までの対応、そして、これからの展開により、コモンズ30ファンドが重視している「見えない価値」を再検証する絶好のチャンスが訪れたからです。

ショックを乗り越えるだけではなく、危機を機会に転ずる企業こそが「世代を超える」コモンズ30ファンドの長期投資に相応しいです。



■ こどもトラスト

2020年のゴールデンウィークは誰もがこれまで経験したことがなかったものになりました。移動をしない。人との接触を極力少なくする。年配の方々との接触も控える。これまで良しとされてきたことは、まるで真逆の方針を求められている。

目下子育て真最中のみなさんにとっては、なかなか難しい時間を強いられたのではないのでしょうか。

長期に渡る休校、休園。新型コロナ拡散防止のために自宅に留まるようにという要請がなされる今、元気いっぱいの子どもたちのエネルギーをどのように発散したら良いものか、在宅勤務でこどもたちとうまく向き合うにはどうしたらよいのか。

いつまで続くのだろう。誰もが不安に思われていることと思います。

そして、残念ながら、どうやら、すぐには解決しない様子です。

しかし、一方で、私たちはすでに未来に向かって歩み始めたとも言えます。

こどもたちの日々の成長は待ったなしです。

今できることを、私たち大人も見出し、行動を起こし始めていますね。

様々なオンラインサービスが無料で配布されるなど、こどもたちの成長を他人事とせず、自分たちに出来ることを始動させている企業も。一人親世帯の支援、家庭に居場所のないこどもたちの支援の声も挙げられ、その支援の輪は広がろうとしています。

目先の困難に心を奪われることの方が問題だと感じる保護者の方々も少なくないようです。

こどもたちが育っていく上で大切なことは変わりません。

それは今までとは少し違った方法になるかもしれません。

それでも本質は変わらない、ということに私たちは気づき始めています。

大人たち自らが、様々な形で工夫して、感謝の気持ちを忘れず、思っていること感じていることを相手に伝え気持ちを共有することで、人々が直接会うことが難しい今でも、そのことの大切さをこどもたちに伝えています。そして、そうした大人たちの前向きな姿勢は、こどもたちに未来を信じる力を引継いでいくことにつながります。

私たちコモンズ投信でも、今、こどもたちの未来にできることを考えてみました。

こどもの日には、初のオンラインでのこどもトラストセミナーを開催し、今まで参加が難しかった他県のお子さんにも参加いただくことが叶いました。

「こどもトラスト 7年目のアンケートから見えてくるもの」

私たちコモンズ投信は、こどもトラスト口座を始めて10年、さらに多くのお子さんたちの未来の信じる力を応援したいと思っています！



■ コモンズSEEDCapからのお知らせ

第11回コモンズSEEDCap応援先の推薦募集中！

コモンズSEEDCap（シードキャップ）とは、私たちコモンズ投信が創業以来続けてきた社会起業家支援。社会課題にいち早く気づき立ち上がった社会起業家に、弊社が受け取る信託報酬の1%相当を寄付し、一年間広報支援などでも応援するというプログラムです。

わたしたちは、寄付も、よりよい世の中を次世代へつなげる利他の「長期投資」と考えているため、寄付も投資と同じように本業として取り組んできました。

◇コモンズSEEDCapに関しては[こちら](#)

今年は例年より早く3月に最終候補者3名を決定いたしました。そして、このゴールデンウィークには、この3名それぞれとの対談オンラインイベントを行い、現在コモンズTVにて公開中です。

◆[平岩国泰さん\(第3回社会起業家フォーラム登壇者\)放課後NPOアフタースクール](#)

◆[渡部カンコロンゴ清花さん\(第11回社会起業家フォーラム登壇者\)NPO法人 WELgee](#)

◆[林伸彦さん\(第11回社会起業家フォーラム登壇者\)NPO法人親子の未来を支える会](#)

「どの候補者を、どの活動を応援したいか?！」候補者の中から1名をお選びいただき、その推薦理由と共にお知らせいただきますよう、お仲間（今年3月末時点でコモンズ投信にてコモンズ30ファンドの受益者であったみなさま）に向けて、4月28日に推薦お願いのメールを配信させていただきました。（募集締め切りは6月8日）。

多くのお仲間の声が必要です。ご協力、お願いいたします。

[詳しくはブログにてご紹介中です。](#)



SEEDCap担当 馬越 裕子

■お客さまの声

お客さまからいただいたお声をご紹介します。

ZOOMセミナー「こんな時だからコモンズの話聞いてみる！」



お客さま
40代・男性

コモンズ投信の考え方を改めて確認できました。これから積立NISAにて、投資信託始める予定でしたので、いいきっかけになったと思いました。

自分の資金がコモンズ30を通じてコロナ対策をしている企業に間接的にでも役に立っていると分かり嬉しく思った。



お客さま
30代・女性

今だから聞いてほしい積立のはなし（ファンド説明会）



お客さま
20代以下・男性

お二人の生の声を聞けたこと、また、お仲間のオピニオンをリアルタイムで見ることが出来たので大満足です。

日本の未来に対するポジティブな思いを伺えたことと、その思いを共有する多くの人がファンドを持っていることがわかってよかったです。



お客さま
50代・女性

■お知らせ

Pick up！セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。
<http://www.common30.jp/seminar/>

■5月18日（月）15:00～16:00

[#forgood「お金の未来を考える」～積立投資とコモンズのファンド～](#)

5月29日（金）19:00～19:45

[#forgood「お金の未来を考える」～マーケット、どう見たらよい？～](#)

☆YouTubeで「[COMMONSTV](#)」を検索し、チャンネル登録をお願いいたします！☆

コモンズ30ファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2009年1月19日 ~ 2020年4月30日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.078%（消費税込）です。



運用実績

2009年1月19日 ~ 2020年4月30日

基準価額

26,097 円

（前月末比）

+1,293 円（5.21%）

純資産総額

174.9 億円

（前月末比）

+11.6 億円（7.12%）

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	5.21%
3ヵ月	△9.68%
6ヵ月	△9.30%
1年	△5.60%
3年	7.32%
5年	12.76%
10年	95.41%
設定来	182.43%

分配金（1万口当たり、税引前）

決算期	分配金
2016年1月	0円
2017年1月	240円
2018年1月	250円
2019年1月	0円
2020年1月	250円
設定来合計	1,610円

※2020年4月30日時点。※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	91.2%
その他	8.8%

未来コンセプト別比率

新素材	14.5%
精密テクノロジー	13.7%
ウェルネス	12.1%
生活ソリューション	12.0%
快適空間	9.5%
資源・エネルギー	8.8%
ライフサイクル	6.6%
地球開発	6.1%
未来移動体	5.2%
社会インフラ	2.8%
その他	8.8%

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	3.7%
2 シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.7%
3 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.5%
4 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	3.5%
5 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.5%
6 マキタ	快適空間	環境、安全、安心に優れ、世界のプロに選ばれる	3.5%
7 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.5%
8 ダイキン工業	快適空間	世界一快適な空気をつくる	3.4%
9 クラレ	新素材	真似できないアナログ化学会社	3.4%
10 クボタ	地球開発	日本で培った競争力で、アジアの食糧問題に寄与	3.4%

※2020年4月30日時点。

※「ポートフォリオ別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

4月のファンドの月間リターンは+5.21%の上昇となりました。

◎運用責任者メッセージ

4月の内外金融市場は、欧米において新型コロナウイルスの感染拡大にピークアウトの兆しが見え始めたこととそれに伴う経済再開の発表が相次いだことなどから、相場は戻り歩調を強めました。足元の経済指標がかつてない悪化を示す中、株式市場の先行性がそれを上回った展開でした。国内株式市場も上昇となりましたが、欧米やアジア市場に比べると当月の戻り率は小幅なものとなりました。そうした中では、東証マザーズ指数の30%近い上昇をみても小型成長株の戻りが鮮明となりました。当ファンドは月間で+5.21%の上昇、投資先30銘柄中21銘柄が値上がり、9銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+4.35%、日経平均株価も+6.75%の上昇でした。

当ファンドは慎重な運用スタンスを維持しました。現金等比率も8.8%と買い余力を残しています。個別銘柄では日揮の+21.43%を筆頭に10銘柄が10%を超える上昇となりパフォーマンスに貢献しました。決算発表シーズンを迎えることもあり、5月も慎重な運用スタンスで押し目買いに徹します。全体的には企業業績の大幅な低下が想定される中、今後は、よりクオリティの高い銘柄が選好されるマーケットになると考えています。まさに、当ファンドの真価が発揮出来る環境です。引き続き、当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋澤健、上野武昭、末山仁、原嶋亮介/○は最高運用責任者

※組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

なし



今月のピック！

◎ (6146) ディスコ

4月はディスコの株価が14.00%上昇しました。

4月初旬に発表した第4四半期個別売上高速報で、1-3月期売上高が会社計画から大幅に上振れしたことから、2020年3月期の連結業績も上振れて着地することが想定されたことなどが好感されました。

4月24日にディスコ主催の機関投資家向け決算説明会が電話会議形式で開催されました。関家社長からは「新型コロナの影響を今後見ていく必要があるが、今のところ顧客の生産活動は順調で投資意欲が強い。顧客の高水準な稼働が続いていることから、特に消耗品の販売が好調」との説明がありました。ディスコの生産体制についても、「新型コロナへの対応はスムーズに出来ていて、工場の稼働は問題ない状況。将来の需要拡大に向けて、工場の拡張を粛々と進めていく」とのことでした。4月以降は、受注、引き合いにピークアウト感があるとのコメントがありましたが、引き続き、“強い企業づくり”を目指して、組織経営、事業経営に注力していくと意気込みを語りました。

シニア・アナリスト 末山 仁

◎ (6988) 日東電工

日東電工が4月27日に発表した2020年3月期決算では、営業利益は前年比24.8%減の697億円となりました。しかし、主要市場である自動車やスマートフォンの販売台数が低迷する厳しい外部環境下、73億円の減損損失を計上していることも考慮すれば一定の評価はできるもの、との見方が強かったようで、決算発表後に株価は上昇しました。

新年度（2021年3月期）は新型コロナウイルスの流行拡大によって経済状況はさらに厳しいものになると思われますが、社会が大きく変化する局面では同社の強みである「スピード感をもった顧客対応」がより活きてくると考えられます。また、同社は実質無借金で、期末時点で3,000億円を超える現預金残高を有するように財務基盤は盤石であることから、このような環境であるからこそ、設備投資や研究開発投資、M&Aなどへの積極的な活用も期待したいところです。

アナリスト 原嶋 亮介

◎ (6902) デンソー

4月はデンソーの株価が9.20%上昇しました。

新型コロナウイルスの影響で停滞していた自動車の生産が、世界的に戻ってくる動きが出てきたことが背景にあります。現状の自動車生産は、中国では通常稼働に戻ってきつつあり、アメリカでも各社が5月内の生産再開に向けて動き出しております。一方、新型コロナウイルスの世界的な広がりのなか、感染・接触リスクを避けるため、消費者のモビリティに対する考え方に変化が出てきていると言われます。公共交通機関を避けて、自転車、オートバイ、自動車で移動する、自動車ではカーシェアリングでなく、所有の自動車へのニーズの高まり、などです。

また、自動車では、広々とした空間の車（逆に1人乗りの車）、空気清浄機能がより高い車などが求められるかもしれません。デンソーは自動車部品メーカーの世界的大手で、自動車の変化に応じていける会社です。今後の進化に一段と注目しています。

シニア・アナリスト 上野 武昭



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第578号	○	○		○
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第50号	○			○
楽天証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○	
株式会社SBI証券※1	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○	○		○
株式会社秋田銀行※1	登録金融機関	東北財務局長 (登金) 第2号	○			
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第43号	○	○		
株式会社栃木銀行※1	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第57号	○			
株式会社横浜銀行※1	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第36号	○	○		
株式会社イオン銀行※1	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第633号	○			
株式会社北海道銀行※1	登録金融機関	北海道財務局長 (登金) 第1号	○	○		
エース証券株式会社※1	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第6号	○			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第52号	○	○	○	
株式会社静岡銀行※1	登録金融機関	東海財務局長 (登金) 第5号	○	○		
静銀ティール証券株式会社※2	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第10号	○			
株式会社福岡銀行※2	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第7号	○	○		
株式会社熊本銀行※2	登録金融機関	九州財務支局長 (登金) 第6号	○			
株式会社親和銀行※2	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第3号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務支局長 (登金) 第10号	○	○		

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



販売会社一覧

販売会社名称	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
松井証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第164号	○	○		
野村證券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第142号	○	○	○	○
浜銀TT証券株式会社※2	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第1977号	○			
FFG証券株式会社※2	金融商品取引業者 福岡財務支局長 (金商)第5号	○			
株式会社京葉銀行※2	登録金融機関 関東財務局長 (登金)第56号	○			
株式会社十六銀行	登録金融機関 東海財務局長 (登金)第7号	○	○		
株式会社鳥取銀行	登録金融機関 中国財務局長 (登金)第3号	○			
tsumiki証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長 (金商)第134号	○			
auカブコム証券株式会社※1	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第61号	○	○		
株式会社ジャパンネット銀行※1	登録金融機関 関東財務局長 (登金)第624号	○	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金)第6号	○	○		
株式会社七十七銀行※2	登録金融機関 東北財務局長 (登金)第5号	○	○		
株式会社伊予銀行※2	登録金融機関 四国財務局長 (登金)第2号	○	○		
四国アライアンス証券株式会社※2	金融商品取引業者 四国財務局長 (金商)第21号	○			
株式会社十八銀行※2	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金)第2号	○			
京都信用金庫	登録金融機関 近畿財務支局長 (登金)第52号	○			
株式会社佐賀銀行	登録金融機関 福岡財務支局長 (登金)第1号	○	○		
LINE証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長 (金商)第3144号	○			
株式会社山梨中央銀行	登録金融機関 関東財務局長 (登金)第41号	○			

※1 つみたてNISA取扱 ※2 つみたてNISAのみ取扱



コモンズ30ファンドのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



コモンズ30ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年税込1.078% (税抜0.98%) を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逡減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他

商品分類	追加型投信/内外/株式
信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります）
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込として取扱います。



ご注意事項

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。

◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。

◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前9時～午後5時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>